

私の留学体験記

広島県立呉宮原高等学校 1年 寺元 望結（てらもと みゆ）

留学期間 平成30年3月8日～平成30年3月21日（14日間）

留学先 マウントアナンハイスクール（シドニー，オーストラリア）

私のオーストラリアでの二週間の生活は、自分の生き方を変える大きな転機となり、学習面や精神面でも成長することができました。

留学してからの数日間は、言語や文化が異なった慣れない環境の中で不安だったこともあり、緊張して、なかなか自分の意思を上手く伝えたりすることができませんでした。ですが、自分が知っている単語で一生懸命伝えようとした言葉をバディーやホストファミリーの方が「すごく上手に話せているよ。」と褒めてくれました。このおかげで自信を持つことができ、徐々に積極的に話しかけられるようになりました。そして私自身も多くの人の話をたくさん聞くことができました。毎日の会話を振り返ってみて、私は「Thank You」が一番多く言葉にしたと思います。この言葉は初日からホストファミリーが常に口にしていて言葉で、私も私を支えてくれる両親、友達や周りの人たちへの感謝を口に出して伝えなければいけないと感じました。決して完璧な文法や正しい単語が使えてはいなかったと思いますが、上手く伝えられなくてもこういった感謝の気持ちや毎日の挨拶を伝え続けることも大切なコミュニケーションであると学びました。



また私が特に留学してよかったと思うことは、自分のやりたいことを見つけられたことです。今までは目指したいものがなく、漠然としていた将来でしたが、オーストラリアで先生が楽しそうに教える様子や、添乗員さんの話を聞いて、将来は海外で働きたいと思うようになりました。この話をホストファザーにすると、「きつとなれるよ！またオーストラリアに戻ってきてね」と励ましてくれました。絶対にこの夢を叶えたいと強く思いました。きっと、今まで以上の努力が必要になると思いますが、この目標に向かって今できることを精一杯頑張りたいです。

今回オーストラリアに行く前は長いと思っていた2週間も、いざ振り返ってみると本当にあっという間で、自分の人生にとって一度しかない経験や思い出となり、コミュニケーションの取り方や積極性など留学生活ならではの多くのことを学ぶことができました。オーストラリアでの友達や家族もでき、充実した時間を過ごせました。もう少したくさんの人とさらに多くのことを話して日本について知ってもらいたかったなど、後悔の部分もありましたが、将来またいつか戻って後悔をなくしたいと思います。そしてすべての人に感謝の気持ちを持って、これからの生活をより良いものへとしていきます。